

In brief

An overview of financial reporting developments

No. 2013-43
October 4, 2013

FASBが買戻契約プロジェクトの路線を変更

最新の動向

米国財務会計基準審議会(FASB)は、10月2日の会議において、2013年1月に公表した公開草案¹の中でFASBが提案した買戻契約に係る会計モデルの一部を維持することを暫定的に決定しました。これは、2013年5月にFASBが行った暫定的な決定からの大幅な変更となります。5月の会議で、FASBは、コメント・レターによるフィードバックを検討した後に、金融資産の譲渡の会計処理を修正するのではなく追加の開示のみを要求する決定を行っていました。

主な決定事項は?

FASBは、買戻契約の会計モデルに関して以下の暫定的な決定を行いました。

- 満期レポ²: FASBは、満期レポ取引を担保付借入として会計処理することを要求する決定を行いました。
- リパーチェス・ファイナンス³: 現行のガイダンスに従うと、リパーチェス・ファイナンスの一環として締結された買戻契約については、当初の譲渡と「連動」したベースで会計処理を行い、単一の取引として分析することを求められる場合があります。結果として、買手は当該取引を購入や資金調達ではなく、デリバティブ金融商品として会計処理することがあります。公開草案と整合的に、FASBは、リパーチェス・ファイナンスの現行モデルを削除し、こうした買戻契約を当初の譲渡とは区別して会計処理することを求める決定を行いました。
- 「実質的に同じ(substantially the same)」についてのガイダンス: FASBは、既存の政府機関発行のモーゲージ担保証券および先渡TBA(To Be Announced)買戻契約の譲渡が関与するダラーロール取引⁴について、有効な支配モデルにおける「実質的に同じ特徴」についての評価を明確にするために、新しい適用ガイダンスを追加することを決定しました。この適用ガイダンスでは、取引条項(trade stipulation)を伴わない先渡TBAダラーロール取引は実質的に同じ金融資産のリターンという結果になることは見込まれませんが、取引条項を伴う先渡TBAダラーロール取引ではそうなる可能

¹ 会計基準アップデート案「譲渡及びサービス業務(Topic 860): Effective Control for Transfers with Forward Agreements to Repurchase Assets and Accounting for Repurchase Financings(資産の先渡買戻契約を伴う譲渡に係る有効な支配およびリパーチェス・ファイナンスの会計処理)」

² 満期レポとは、指定された買戻日付が譲渡された金融資産の満期日である買戻契約です。

³ リパーチェス・ファイナンス(買戻しを伴う資金調達)とは、資金調達取引の担保として取得した金融資産を当初の譲渡人へ再譲渡することを伴う、金融資産の売却です。

⁴ ダラーロール(売却・買戻)取引とは、債務者が、企業(この場合の担保権者)に対して現金と交換にMBSを譲渡し(このMBSは担保として機能する)、それと同時に、類似しているが必ずしも同一ではないMBSを将来日に借手から買戻す契約を締結するものです。

性があることが示されることとなります。

新しいガイダンスを適用する際には、特定の市場の標準的な取引条項を伴わないTBAダラーロール取引が、売却として会計処理(他の要件が充足されることを前提に)される可能性があります。取引条項を伴う取引は、追加の分析を要求されることとなります。

- FASBは、売却として会計処理された特定の譲渡について、取引の種類別に、追加の開示を要求することを決定しました。これには以下が含まれます。
 - 報告日現在で譲受人と取決めが未履行となっている取引について、当初の譲渡日に認識を中止した資産の帳簿価額
 - 譲渡された金融資産に対する譲渡人の継続的なエクスポージャーに関する情報。これには、譲渡された金融資産に対するエクスポージャーを譲渡人が保持することになった取引についての説明、譲渡人が引き続き晒されている当該資産に関連するリスク、およびそのような資産に関連した最大エクスポージャー(認識の中止された資産の公正価値)等の情報が含まれる。
 - 売却として会計処理された契約に関連して財務諸表に計上された金額(すなわち、デリバティブとして会計処理された先渡購入コミットメント)およびASC815「デリバティブ及びヘッジ」により要求されている開示事項へのクロス・リファレンス

コンバージェンスは達成されるか？

コンバージェンスは、本プロジェクトの明言された目標ではありません。本プロジェクトは、ASC860に対する修正が関係するFASB単独のプロジェクトです。ASC860の下では、売却の会計を達成するためには有効な支配の放棄が要求されています。国際財務報告基準(IFRS)は、通常、買戻契約を担保付借入として処理することになる「リスクと経済価値」アプローチにより近い異なるモデルを要求しています。

影響を受ける企業は？

当ガイダンスが公表された場合、特定の買戻契約、ダラーロール取引、または類似した取引を行う企業に影響を与える可能性があります。多くの場合において会計処理の変更はないものの、追加の開示が要求される可能性があります。

発効日は？

提案されている修正案の発効日はまだ決定されていません。

次のステップは？

修正案の再公開は行われたい予定ですが、ただし、FASBスタッフは、新基準を最終化する前にFASBの決定のさまざまな側面についてフィードバックを得ることを目的に、利害関係者に限定したアウトリーチを行う予定です。

In brief is designed to provide a timely, high-level overview of significant financial reporting developments. It is issued by the National Professional Services Group of PwC. To access additional content on financial reporting issues, register for CFOdirect Network (www.cfodirect.pwc.com), PwC's online resource for financial executives.

© 2013 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.